



# 令和5年度 市川中学校3学年 グランドデザイン



## 学年経営目標

自他の成長の可能性を信じ、進路実現に向かって主体的に取り組む  
生徒・集団の育成

### 今年度の重点

#### 確かな学力の育成

- ・学習意欲を高めるための授業の工夫  
対話のある授業を計画的に実施し、生徒一人ひとりの活動のある場を授業をめざす。
- ・自主学習の取り組み  
家庭学習の習慣化をはかるとともに、知識の定着を意識した方法を指導する。
- ・テストの取り組み  
入試において見通しを持って、計画的に取り組むことができるよう指導を工夫する。
- ・進路学習  
卒業後の進路について、主体的に取り組めるよう情報提供を適切に行い、自己理解に基づいた進路選択ができるよう支援する。

#### 豊かな心の育成

- ・一人ひとりの存在感ある集団づくり  
学級、学年、全校の活動を通して、一人ひとりが役割を担い、集団に参画する機会を増やす。
- ・新しいことへの挑戦  
今までの取り組みを土台にして、全校の活動に貢献できる最上級生を目指すよう指導する。
- ・諸活動において、人権教育を基調とした活動を行う  
学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。人権尊重の意識を培う集団となるよう指導する。

#### 健康・安全

- ・自立した生活に向けた指導  
優先させるべき事項を明確にして、時間管理の意識を持って生活するよう指導し、生活にメリハリを持たせる。
- ・体調管理、適切な感染症対策  
体調の自己管理の力を身につけ、入試などに対応できる力を身につける。
- ・情報リテラシー学習  
機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。

#### 地域との連携

- ・情報発信、保護者との連携  
学級通信、学年通信を適宜発行し、学校の様子を発信する。個々のよりよい成長のために、保護者と連携し学校の様子を伝える機会を多く持つ。
- ・地域参画  
地域の一員として、社会参画を促す指導をする。
- ・進路指導  
保護者と連携して情報を共有し、丁寧な進路指導を行う。

### 今年度の重点取組及び分掌

- ・授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける（全）
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。（全）
- ・自主学習を通して、生徒の学習状況を確認する。（全）
- ・帰りの会を活用した基礎学力向上の取り組みを行う（各教科）
- ・進路情報を日常的に掲示する。（小林）
- ・タブレットを活用した授業の工夫・改善を提案する。（塩島）
- ・進路実現に向けた放課後学習会を実施し、知識の定着を図る。（全）

- ・学級を一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。（担任）
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持ちを表現する活動を行う。（佐野）
- ・自分の良さを見つけ、進路選択に活かす活動を行う。（担任）
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。（全）
- ・生徒自身が作りあげる生徒会活動を行う。（市瀬）
- ・関係機関と連携し、生徒のよりよい成長を多くの人で支えるとともに、卒業後の支援につなげる。（小林）

- ・学校生活上の優先事項を明確にする。（担任）
- ・教室環境の整備を行う。（担任）
- ・体調の自己管理や、感染予防を意識した生活を送るための方策を指導する。（全）
- ・情報リテラシーについて取り上げる道徳授業を実施する。（佐野）
- ・タブレットの活用法を考え提案し、試行する。（塩島）

- ・学年、学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。（担任・小林）
- ・思春期体験学習を通して、生命について考える機会とする（全）
- ・ボランティア活動などを通して、地域とのつながりを考える。（小林）
- ・積極的に保護者と連携し、丁寧な進路指導を行う。（担任）